

レビュー研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Optimal excision margins for primary cutaneous melanoma: a systematic review and meta-analysis.	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1. 有り 2. 無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ10-2	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (I)	
	Pubmed ID	14680348	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Can J Surg	
	雑誌 ID		
	巻	46	
	号	6	
	ページ	419-26	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1. 医学 2. 歯学 3. 看護 4. その他 (1)	
	原本言語	1. 日本語 2. 英語 3. ドイツ語 4. その他 (2)	
	発行年月	2003 Dec	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Haigh PI	University of Toronto
その他著者 1		DiFronzo LA	同上
その他著者 2		McCready DR	同上
その他著者 3			
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

レビュー研究の6項目	目的	主目的:体幹・四肢のメラノーマ患者において、最大の無病生存期間と全生存期間、最低の局所再発率をもたらすための切除マージンについて検討する 副次的目的:合併症の発症率を検討する
	データソース	MEDLINE、EMBASE、Cochrane Library (1966 から 2002 : term "melanoma," subheading "surgery," and limiting the search to human studies and randomized controlled trials (RCTs)、さらに MeSH term "surgical procedures, operative," combining with "melanoma," and limiting to human studies) 2002 年 5 月に検索
	研究の選択	Cochrane collaboration の方法に沿った
	データ抽出	JAMA Users' Guides to the medical literature に沿った
	主な結果	3 件のランダム化比較試験(RCT)を統合して検討した。 Wide excision (3-5cm) と narrow excision (1-2cm) を比較した。 4 から 6 年目の死亡率:有意差なし (リスク比 RR = 0.93, 95% CI 0.73-1.19; リスク差 RD = -0.01, 95% CI -0.04-0.02) 8 から 11 年目の死亡率:有意差なし (RR = 0.95, 95% CI 0.81-1.12; RD = -0.01, 95% CI -0.05-0.02) 4 から 6 年目の全再発率:有意差なし (RR 1.03, 95% CI 0.81-1.32; RD = 0.00, 95% CI -0.03-0.04) 8 年目の全再発率:有意差なし (RR = 0.89, 95% CI 0.72-1.09; RD = -0.02, 95% CI -0.06-0.02) 48 から 72 ヶ月目の局所再発率:有意差なし (RR =0.98, 95% CI 0.38-2.52; RD = 0.00, 95% CI -0.01-0.01) 8 から 10 年目の局所再発率:有意差なし (RR =0.90, 95% CI 0.41-2.00; RD = 0.00, 95% CI -0.01-0.01) 術後感染は 1 件の試験でのみ検討され、有意差は無かったが wide excision では感染が多かった。 植皮の必要性は 1 件の試験でのみ検討され、有意差は無かったが wide excision で植皮の必要性が多かった。
	結論	切除マージンは 1 c m以上が望ましいが、最大切除マージンは 2 c mを超えないことが望ましい。 RCT にて 2 c mと 1 c mを比較したものは無いので、最小切除マージンは 1cm では無く 2 c mをゴールとするべきである。
	備考	
	レビューワーコメ	レビューワー氏名 古賀弘志

ント	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ I ） 優れたメタアナリシス
----	------------	------------------------------------